



「絶対」
「回」



ドキ...

きゅん...

ドキ...

きゅん...

ドキ...

きゅん...



く
...

う
...

びしょ〜







は...

はあぁぁぁ...

おっ...

ニッ

ニッ

ニッ...ニッ...



はい…

終わった…
の…?



はは...

はは...

はは...

はは...






ルーデウス…

中でまた
大きくなって
きてるわ…

う…

ごめんなさい…





別に
構わないわ

続き…
するの？

そうしたいのは
山々ですが…

ルイジェルドさんが
帰ってくる前に
片付けておかないと…

そうね…

じゃあ…
抜きます…

あ…

ぬ…





んっ...

はっ...

おっ...



...stt

...stt

...stt





ああ…
すっかり
縮こまってしまつて…

すまない
我が息子よ…

エリスの
温かい腔内が
恋しいよな…？



できれば
俺だって
すぐに二回戦と
いきたいが…

ルイジェルドに
気を使わせるのも
悪いしな…

…デウス…

ルーデウス：
どうかしたの？

あ…

いえ…！

なんですか？

しくった…？

行為後は女の子への
アフターケアが大事って
エロゲで散々
学んだじゃねえか…！

どう…
だった…？

ん…
ん…ん…



さ…
最高でした！

エリスの腔内^{なか}…
すっごく気持ちよくて…

あ…

そっ…
そういうことじゃ
なくて…！！

それはそれで
嬉しいけど…

とにかく違うの！
言い方が悪かったわ！

私が
聞きたかったのは…



落ち込んでた
みたいけど…

元気…
出た…？





あ…



エリスの
おかげです

はい…



そう...

なら…

よかったわ…







エリス…

僕も…聞いても
いいですか？

何よ？
あらたまって…



どうしてエリスは
僕にここまでして
くれるんですか？

え……？

どうして
そんなこと……

だって……

エリスは初めて
だったのに……

それに僕がちゃんと
成人してからって
約束も破ってしまって……

なんだか
申し訳なくて……



そっ…

そんなの…
ルーデウスが気に
しなくていいわ！

私が自分で
決めたことで…

でも
僕には…


エリスの献身に
報いるために
できることなんて
何もありませんし…

そんなこと
全然ないわ！

だって…！

私はいつも
ルーデウスに…





同情...
ですか...?

え...

僕が
酷い顔してたから
哀れに思ってた…？

優しいですね
エリスは…

すみません…
僕が弱いから…

エリスに
迷惑ばかり
かけてしまって…

ちっ…
違う…


違うわ！

そんなの
じゃない！

誤解
しないで！

それに
ルーデウスは…





ルーデウスは
弱くなんか
ないわ！


弱いのは
私の方！

ルーデウスは
凄いんだから……!

凄くて……
強くて……
賢くて……

いつだって私を
守ってくれて……

私の先生で……
憧れで……



だから…!

だから
私が…

私が
ルーデウスに
抱かれたのは…



あい……

あ……



……

てたて...






...와...!



エリス...?



私が…
ルーデウスに
抱かれた理由なんて…

そんなの…

そんなの…
決まってる…



エリス…？

何を言ってるのか
よく聞こえなくて…

A close-up illustration of a character's face, showing a tear falling from the eye. The character has pink hair and is wearing a red garment. The background is a soft, pinkish-red color with some darker red lines. A speech bubble is positioned near the tear.

そんなの…



理由なんて…

そんなの…

決まってるわ！

私が

ルーデウスを

愛してる
からよ!!









な…

なによ…

エリス…
それは…

…

本当に…？

いつから…
ですか？

はア？

本当よ！

いつから
は……！



いつから
なんて…

わからないわ…!

魔大陸に転移
する前から…

ロアの家
一緒に住んでた
頃から…

なんとなく…

いつの間にか…

とにかくずっと
前からよ!

ずっと
好きだったの！

ずっと一緒に
いたんだから…

気づきなさいよ！
バカ！



私もバカ
だけど…

可哀想な
だけで…

好きでも
ない男に
体を許したり
しない！

ましてや子猫が
ほしいなんて…

絶対に
言わないわ!!

バカ!

ルーデウスの
バカ!

鈍感!!



すまない
エリス…

試すようなことを
訊いてしまって…

卑怯で
臆病な俺を
許してくれ…




もしかしたら…
エリスは俺のことを…と
思ったことが何度かある

だが…

その度にそんなのは
身の程知らずな自惚れだと…
愚かな思い上がりで決まってる
と自分に言い聞かせていた

俺なんか
異性に想いを寄せられる
ことがあるなんて
どうしても信じられなかった…





エリスに直接
確かめようかとも
考えたが…

拒絶されたときの
ことを想像すると
怖くてたまらなくて…

俺は逃げて
ばかりだった…

だけど…
それも終いだ…

自分からは
切り出せなかった
けれど……

せめて…

気持ちをまっすぐに
伝えてくれた
エリスの勇敢さには
しっかり向き合って
応えるんだ…!




エリス
ごめんなさい

困らせて
しまって…

それから…

ありがとう
ございます





こんなに
嬉しい気持ちに
なったのは…

生まれて
初めてです

本当に

ありがとう



僕にも…

ずっとエリスに
伝えたかったことが
あるんです

今まで怖くて
話せなかったん
ですけど…

エリスを見習って
ちゃんと言いますね

もう後悔はしたく
ありませんから…



エリスは…


初めて会った時から
とても印象的で…
特別な女の子でした

口は悪いし乱暴で
喧嘩っ早くて…
最初は驚いたけど…

でも人一倍
誇り高くて
優しくて…

僕の家庭教師にも
ギレーヌやルイジェルド
さんの鍛錬にも
真面目に取り組む
素直な努力家で…





旅の途上で傷ついて
汚れたりもしたけど…

それでも世界で一番
誰よりもきれいで
可愛くて…

とにかく
言い尽くせない
くらいに…

エリスは僕にとって
かけがえのない
大切な人なんです



エリス…



僕も…

エリスを
愛しています…

心から……















Fin